

受賞おめでとうございます

第44回 札幌市PTA広報紙まつり 受賞作

審査委員長の全体講評は、札幌市PTA協議会ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

第130号3月10日発行

PTA さっぽろ




■ 編集・発行:札幌市PTA協議会 広報委員会
 ■ ホームページ <http://sapporo-pta.gr.jp/>
 ■ e-mail shipikyo@sapporo-pta.gr.jp
 〒063-0051札幌市西区宮の沢1-1-1-10
 札幌市生涯学習総合センター3F TEL. (011) 671-2371
 ■ 印刷:株式会社OK印刷

オフセットの部
教育長賞 最優秀賞

札幌市立円山小学校
父母と先生の会
まるやま
connect to the future
未来につながる



■ 教育長賞の講評
 コロナ禍の中、「明るく楽しく想いをつなげる!!」という円山小PTAの皆さんの思いや願いを感じました。特にオンラインアンケートを活用した取組は、秀逸です。紙面もカラフルで美しく構成され、すべての記事が、丁寧に緻密な取材力と卓越した企画力、読み手を意識した高い編集能力に支えられていることを強く感じました。また、PTA活動についても、「今できること」を考えて活動している様子が紹介されており、今後の活動の在り方に貴重な示唆を与えてくれました。「未来につながる」を強く感じさせるしっかりとしたコンセプトの広報紙です。



オフセットの部
毎日新聞社賞 最優秀賞

札幌市立西野中学校
保護者と教師の会
蒼穹(あおぞら)



■ 毎日新聞社賞の講評
 学校に関する情報をどこまで共有し、どこまで非公開とするかは、時代によって変化します。「先生方の紹介」を個人情報と捉え、広報紙のいわば定番を封印した潔さ、そして、PTA会長と生徒会との直接対話という企画の大胆さに感服しました。「ゆるボラ」「ゆるキャラ」で活動の敷居を低くする試みも、時代のニーズに合っています。楽しげで賑やかな誌面の中に、編集に当たった方々の細やかな配慮を感じました。



オフセットの部
日本教育新聞社賞 最優秀賞

札幌市立開成小学校
父母と先生の会
開成



■ 日本教育新聞社の講評
 年間の学校行事をすころく形式で紹介するなど、紙面全ての「レイアウト」の巧みさとともに「見出し」と「色づかい」に創意工夫を凝らし、各記事の内容が大変読み取り易くなっています。特筆すべきは、実際のPTA活動を見開き二面で構造化し、会員の興味・関心を喚起するよう見事に整理されています。また、卒業生一人一人の「漢字一文字」の発想は、生涯の思い出となる貴重な足跡と云えます。広報委員の皆様が多方面にわたる企画・取材そして編集に積極的に取り組んできた様子が伝わってくる素晴らしい広報紙です。



オフセットの部
北海道通信社賞 最優秀賞

札幌市立澄川中学校
父母と先生の会
清澄(せいちょう)



■ 北海道通信社賞の講評
 広報紙作成の基本となる「統一感のある色づかい」に温かみと優しさを感じます。校長先生、PTA会長さん、校舎を背にサッカーする生徒の皆さんと左上のヒメリンゴの実との対比が見事で、4面構成の1面が有効で、印象的なレイアウトです。見開きの2・3面にはPTA活動を中心に学校年間行事と調和させ、4面にはコロナ禍の分散登校の様子を記録するなど、時期にかなった話題が読者の興味をひいたことでしょう。実に読みやすく、渾身の力が込められた作品です。



オフセットの部
市P協会賞 最優秀賞

札幌市立平岡中央中学校
父母と先生の会
こもれび



■ 市P協会賞の講評
 色使いが楽しくカラフルで見やすい広報紙です。30周年記念特別号ということで30年の思い出や記念学校祭、今学校で取り組んでいるタブレットやBIG ART、学年ごとの校外・宿泊学習の様子の記事として掲載するなど、子どもたちの様子や学校の雰囲気伝わってくる紙面です。写真が多くアルバム的になりがちの広報紙ですが、こもれびはコメントや解説を多く入れるなど楽しく見ることができました。



手作りの部
市P協会賞 最優秀賞

札幌市立伏古小学校
父母と先生の会
FUSHIKO



■ 市P協会賞の講評
 手作りの温かみのある紙面構成だと感じました。4ページと少ない紙面の中からは「子どもたちのために今できること」を伝えたいという作り手の気持ちが伝わってきます。学校名でもある地名の「伏古」の語源の紹介や東区のパープルロードの紹介なども掲載されていて読む人の興味を引く広報紙になったと思います。



国内研修団報告

2年振りの国内研修は正に瀬戸際の開催となりました。1月の開催を決定してからも紆余曲折を経つつ、対面による以下の研修を実現することができました。(一部オンライン)

- (一社)北九州市PTA協議会様:他都市との交流を深める
- キャリア教育研究会様:先行事例「夢授業」から学ぶ
- TOTOミュージアム様:トイレの歴史・学校のトイレの現状を学ぶ
- 三宜楼運営協議会様:門司港の歴史を学ぶ

対面の良さが随所に現れていたと実感しています。このような貴重な機会を与えて頂き、またご協力頂きました団員及び関係者の皆様へ感謝いたします。



三宜楼見学 (ガイドは運営協議会古賀会長)

北九州市PTA協議会様と



三行詩・交通安全標語表彰式

12月11日(土)にPTA共済会が実施している交通安全標語の表彰式と合わせて、三行詩の表彰式が行われました。例年「ちえりあ」の中研修室を会場に行われていましたが、今年は改修中ということで札幌サンプラザのロビーを会場に行われました。ホテルのロビーでしたので天井も高く表彰式に相応しい厳かな雰囲気の中で行われました。来年もここに会場を移して実施したらどうかという声もありました



交通安全標語

- 東区 てをあげて まわりみてから あおしんゴー
- 西区 信号は 命を守る 光です
- 南区 ありがとう 子どもの未来を 守ってくれて
- 北区 スマホより 命優先 顔あげて
- 中央区 ゆずりあい おしぎで心が ぼっかぼか
- 白石区 上げた手に 幼い信頼 裏切るな
- 豊平区 スマホだめ! 運転中は 全集中
- 厚別区 ゆずり合う 目と目を合わせ 気持ちよく
- 手稲区 左右 命を守る 二秒間
- 清田区 かえりみち よりみち ちかみち あぶないよ

札幌市PTA協議会優良三行詩

令和3年度

受賞おめでとうございます 作品一覧

日本PTA全国協議会「楽しい子育てキャンペーン 三行詩」には、市内小中学校、また保護者の皆様より、計289点のご応募をいただき誠にありがとうございました。昨年6月に市P協から15点を選考し、日Pの最終審査で1点が佳作に選ばれました。互いを思い合う親子の愛情や絆、大切な家族へ普段はなかなか言えない感謝の言葉など、その家庭での会話が目につくような、心打たれる作品ばかりでした。市P共済会主催による交通安全標語コンクールでは、市内小中学校213校からご応募をいただき、各区の最優秀作品が選ばれました。作品からは、命の重みに対する意識が感じられ、日々の生活の中で感じた交通安全への強い願いが込められていました。ともに受賞された皆様、大変おめでとうございます!最後に、今回受賞された方々の、三行詩と交通安全標語をご紹介します。

- 小学生の部** なんでもけん 母にあげた小さい時
いやなことがあった時 母はいった
なんでもけん使うから なにがあったか教えてくれる
- 中学生の部** 幸せなのは 笑う母を見る 私の方です
- 一般の部** 何かあったかな いつもと違う ただいまの一言

奨励賞(12名)

- 小学生の部**
 - おとうさんがテレワークになって、みんなでたべれるおやつ時間
 - 母さんは、私には厳しく、他には優しい 最近しった それは愛情あつてこそ
 - 学校に行く前、私が「行ってきます。」と言ったら、お母さんは「行ってらっしゃい。」「気を付けてね。」と言ってくれる。「行ってらっしゃい。」の中には、たくさんの思いが詰まっている。
 - おばあちゃんとの思い出 おばあちゃんとの思い出 たくさんあるな でも1ばんは まいにちのどあめもらったこと たいしたことではないのかもかもしれないけれど それが1ばん えがおすてきたたな またおきたいなおばあちゃんに
- 中学生の部**
 - かんたんだけどむずかしい。いいたくてもいえない。たった五文字のありがとう。
 - 自分は学校でがんばっているつもりだけど、お母さんよりはがんばっていないかもしれない。自分が休んでいる時も、お母さんは働いている。それはすごいこと。お母さんいつもありがとう。
 - 笑顔ママ 家族思いの 愛あふれ
 - 喧嘩をしても 猫がつなぐ家族の絆 ありがとうと猫撫でる
- 一般の部**
 - ふてくされても 文句言ってもいいよ たってあなたは諦めず頑張る わたしの誇りです。
 - 他の子よりも発達が遅いと悩むことがあるけれど、「できた。」と喜ぶ我が子を見て、やっぱりうちの子が1番と心で笑う。
 - 我が家は只今、戦争中。反抗期VS更年期。(もちろん己の戦いも含まれます。)いつかは終わる戦いを夢に見て、この時期でしかあじわえない 交流戦を楽しもう!
 - いつもそばで見守っているよ。だから何でも話してね。一人で悩まず、みんなで解決しよう。

PTA共済会からのお知らせ

忘れていますか? 事故報告・共済金請求

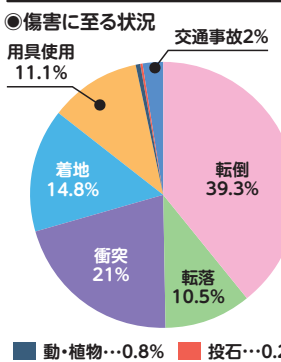
年度末になりました。ケガをしたのに、「事故報告書」や「共済金請求書兼治療申告書」を、まだ提出していない加入者は、さっさと提出してください。

「事故報告書」は、事故日からその日を含めて30日以内に報告が必要。事故後、速やかに提出して下さい。また、共済金の給付対象は「ケガ」をした日から数えて180日までとなっています。まだ治療中であっても180日が経過してしましたら、すぐに請求して下さい。※「共済金請求書兼治療申告書」提出時には、領収書のコピーか診療明細書のコピーを添付して下さい。

事故報告書、共済金請求書用紙は、学校のPTA事務局から受け取り下さい。必要事項を正確に記入し、PTA事務局に提出して下さい。卒園・卒業してから請求する場合は、ケガをした当時の園や学校のPTA事務局に提出して下さい。

◆2021年度・2022年1月31日現在の共済金支払件数と支払金額をまとめたのが左記の表です。

加入者	支払件数	支払金額	内容
幼稚園	17	71,000	一般傷害(17) 交通事故(0)
小学校	1,643	19,246,500	一般傷害(1,606) 交通事故(37)
中学校	262	3,118,000	一般傷害(251) 交通事故(11)
保護者	6	774,000	保護者・教職者5件 特別1件
合計	1,928	23,209,000	死亡1件 後遺障害4件



- ① 交通事故 48件
- ② 転倒 756件
- ③ 転落 2002件
- ④ 衝突 2026件
- ⑤ 着地 2403件
- ⑥ 用具使用 2114件
- ⑦ 動・植物 10件
- ⑧ 投石 5件

◆保護者等のケガでは、スポーツ活動中の重傷者が多く、長期間にわたって入院や通院となっています。ケガは、ご本人はもとよりご家族の心配や不自由な生活に伴うものです。スポーツ大会等、体を使うPTA活動においては、十分な準備運動をするよう心がけましょう。

※新年度に向けて学校(園)のPTA事務局より、加入のご案内パンフレットがお手元に届けられますので、単位PTAごとに皆様のご加入をお願いいたします。

不明な点は……
学校のPTA事務局または、札幌市PTA共済会事務局
(0671-2372)へお気軽にお問い合わせください。

札幌市PTA協議会 令和3年度PTA活動調査アンケート結果要点報告

アンケートの目的

新型コロナウイルス感染症によりPTA活動は多くの制約を受けていることと思います。なかなか区P連などでPTA同士が会う事もままならない状況の中、本年度のPTA活動がどうだったかの調査と、PTA活動を見直し必要な活動をどのように工夫しながら行っているかの調査を行いPTAに何が求められているのか、何を変えていかなければいけないのか、のきっかけを見つけるためのアンケートを行いました。

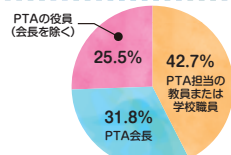
アンケート概要

- 札幌市PTA協議会所属の303単位PTAに対しアンケートを依頼、内158のPTAより返答あり。
- アンケートはGoogleフォームを利用し約1か月間の募集期間とした。令和3年11月1日～30日
- 結果と研究については、令和4年2月の市P協主催の区P連交流会などで意見を交わしたのち、広報紙「PTA さっぽろ」や市P協ホームページなどで皆さんと共有する予定。
- アンケートの集約と要点のまとめは、札幌市PTA協議会役員会にてまとめる。

アンケート結果の要点

アンケート1 回答者についてお伺いします
選択式の回答(157件回答)

- PTA 会長……………50校・圏 31.8%
- PTAの役員(会長を除く)……………40校・圏 25.5%
- PTA 担当の教員または学校職員……………67校・圏 42.7%
- その他……………0校・圏

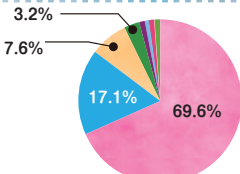


アンケート2

今年度のPTA総会の開催方法について

選択式の回答 回答の多い順(157件回答)

- 1 書面総会……………110校・圏 69.6%
- 2 会員が集まって開催……………27校・圏 17.1%
- 3 オンライン総会……………12校・圏 7.6%
- 4 総会を開催しなかった……………5校・圏 3.2%
- ※その他 代理人開催(役員とクラス代表のみ)、放送室から各教室へ発信した等



- リアル開催 会員が集まって開催した
- 書面総会
- オンライン総会(学校・PTAホームページ上などで)
- 総会を開催しなかった
- 代理人開催(役員・クラス代表のみで開催した)
- 放送室から発信し、各教室で保護者が参加
- 12月に開催予定
- 学校ホームページに総会資料を掲載

アンケートの結果より

70%近い校・圏が書面で総会を実施しておりますが、本年度は感染対策を行いながらリアル開催のPTAも17%あり対面での総会を選択したところもありました。総会方法もオンラインなど多くの手法で行ったことがうかがえます。記載の意見からは、コロナ終息後も書面での開催、仕事などで参加できない会員の参加ができる書面、オンラインを今後も続けることを検討しているPTAも多いようです。反面、書面総会による総会は意見交換をする場を設けることが難しい事、書面総会の資料作成など苦労したところも多かったようです。

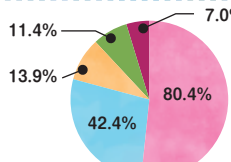
記載された意見より

- 今まで書面での決議を行っていませんでしたが、昨年度より取り入れられました。次年度以降、リアルに開催できるようになって書面決議を並行して行うつもりです。
- 昨年はコロナの影響で紙面開催になりました。日時を設定しないので(仕事を休むなど不要)時間のある時に資料を読むだけと言うメリットはありましたが、資料を一方的に配布するだけで意見交換をする場にはならなかったと言うデメリットもあったのかと思います。今年はリアル開催に戻りましたが感染対策を万全にして出来たと思います。総会は、全学年の多数の保護者に参加して貰うのは難しいです。今年度は少人数で下さる方を少なからずPTA活動に関心を持って下さる方々だとおもうので貴重な意見を聞く場として、可能な限りリアル開催が出来ると良いのではないかと(個人的には)考えます。
- オンラインを活用して総会を行った学校があれば、どのような形で実施したのか、方法を共有できたらうれしいです。
- コロナ以前にリアル開催をしても参加人数が少ない学校のため、コロナ禍中に行った書面開催でも十分ではないかと思っています。総会に参加しないが学年懇談は参加する方も多いためをどうにかできないかとも考えています。
- 今の時代、感染への配慮もさることながら、忙しい保護者の方も増え、なかなか集まらないうので、書面開催で行うことを通常とした方がよいのではないかと考えます。
- 書面開催だと承認が後になり、新任役員の仕事スタートが遅れる
- 書面総会では期日を設定する必要があり、PTA活動開始時期が遅れ気味になってしまいました。
- 学校ホームページで総会資料を閲覧できる体制で締め切り期限までに決議書の提出を保護者さんへお願いしましたが、全世界が決議書を出さずとなりました。総会資料の印刷製本作業で役員が登校する必要がなくペーパーレスで印刷費用もかかりませんでした。
- 今年度は感染対策のため、体育館を会場として行った。PTA総会に來校してくれる保護者が多かった為、総会自体のリアル開催は適切であったと思う。

アンケート3

今年度のPTA役員会の活動について(複数可)
選択式の回答 回答の多い順

- 1 感染対策を行いながらリアルで行っている……………127校・圏 80.4%
- 2 SNS等を利用して行っている……………67校・圏 42.4%
- 3 メールを利用して行っている……………22校・圏 13.9%
- 4 ZOOM等のミーティングツールを利用して行っている……………18校・圏 11.4%
- 5 行っていない……………11校・圏 7.0%



アンケートの結果より、多くのPTAが感染対策を行いながら役員会を行っていることが伺えます。他のアンケートでは専門委員会を行わないと答えたPTAが50%となっていることを考えると、PTA活動は役員、事務局中心で感染対策のために多くの委員会を減らし、工夫しながら活動していたと推測する。学校の学活等で利用されたZOOM等のミーティングツールの利用が難しいのは、通信や端末の整備状況と利用方法の周知の難しさがあると思われる。

アンケート3

記載式アンケートより:「役員会の開催方法について、リアル開催とその他の方法の使い分けの判断基準や、ご意見やご提案があれば記載願います。」

- 役員会の校内出入りは制限されていないが、極力来校を控える為、日程・人数・滞在時間を事前に伝えている。また、生徒となるべく接触しない時間帯を選んだ。(下校時・昼休み・休み時間などに来校を選じた)
- 役員会については通常通り行った。意見交換や作業しなくてはならない場合はリアル開催をし、報告のみの場合は SNS で行っています。
- 働き方改革により夕方以降の学校使用が出来なくなった為、民間施設を利用した。今年度は基本的にLINE で連絡を取り合いました。リアル開催は「運動会のおと」や「監査のおと」等、もともと別件で役員が顔を合わせる時に時間を調整し、僅かな時間ですべて開催しました。
- 判断は学校の基準に従ってあります。グループラインでの役員会となっておりますが、ZOOMなども活用できればとも考えています。
- 学校に足を運んでいただく対面で行う良さもあると思うが、会議システムを利用すると仕事の見聞に参加することができたり、小さいお子さんがいて外出が大変なご家庭の参加のハードルが下がったりなど、良い点もたくさん見られました。
- 緊急事態宣言中はWEB会議、それ以外でもWEB会議とリアル開催を併用し、密にならないようにしています。WEB会議は各役員が参加しやすいというメリットもありますので今後も併用したい。
- グループLINEは非常に迅速で協議内容の調整に役立っている今後も継続していきたいが、LINEを利用していない方々への配慮が必要
- オンライン環境が整わないのでZoomやSNSを使用せずリアル開催している。将来的にはオンライン環境を整えたいが、それにあった指針や環境整備基準を学校単位だけではなく市の方でもガイドラインをもうけてもらいたい。
- SNSのやり取りだけではどうしてもスムーズな意思疎通や細かい話し合いまでは難しいと感じた。(これまで通りの流れのPTA活動であればそれほど支障はなかったのかもしれないが、コロナ禍でこれまでとは違う流れや話し合いが必要だったことも要因の一つだと思う。)規制緩和後、リアル開催出来る様になりようやく動き出せた感じがある。
- 現在役員会や各委員会もLINEやZOOM、ドロップボックスなど様々なツールを使って行っていますが、学校側としては担当が変えたらそのまま実施できるか自信がありません。ZOOMなどの基本的なことは誰でもできると思いますが、それ以外は難しい部分もあります。その辺りは考えて行かなければならないところかと思えます。
- 顔をみて話すことの重要性を(コミュニケーション等において)感じている。

アンケート4

役員会、委員会の開催場所(リアル)をお教えください。(複数可)

選択式の回答 回答の多い順

- 1 学校を利用した……………143校・圏 90.5%
- 2 リアルでの開催は行っていない……………15校・圏 9.5%
- 3 その他……………2校・圏 1.3%
- 4 地区センターや町内会館を利用した……………1校・圏 0.6%
- 5 貸会議室など民間施設を利用した……………1校・圏 0.6%

アンケートの結果より

緊急事態宣言やまん延防止措置の期間以外は、学校を利用して活動を行ったことが分かる。学校が利用できない時は活動自体が自粛され、また他の会場確保はあり行われなかったと思われる。

アンケート5

各専門委員会(学級代表委員会・広報委員会・文化委員会等)の活動について(複数可)

選択式の回答 回答の多い順 上位5件 その他1件の記載(25校・圏)

- 1 行っていない……………80校・圏 50.6%
- 2 感染対策を行いながらリアルで行っている……………59校・圏 37.3%
- 3 SNS(ライン、メッセージ等)……………27校・圏 17.1%
- 4 メール(グループメール)で行っている……………10校・圏 6.3%
- 5 ZOOM等の会議システムを利用している……………7校・圏 4.4%

アンケートの結果より

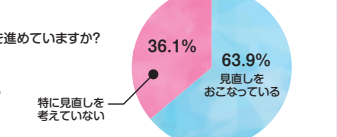
少人数で開催される役員会とは異なり、50%以上のPTAでは専門委員会の活動を自粛したことが伺える。その反面、できる活動をする範囲で工夫しながら委員会活動を行ったPTAも約半数ある。記載式のアンケートからは、専門委員会を活動しないで役員会、事務局、ボランティアがそれに代わり活動していたことが分かる。

アンケート6

PTA活動の見直しを行った。もしくは規約等の改正や改正に向けて準備を進めていますか?

選択式の回答 回答の多い順

- 1 見直しを行っている……………99校・圏 63.9%
- 2 特に見直しを考えていない……………56校・圏 36.1%



アンケートより

- 60%を超えるPTAが活動の見直しを行っていることが分かります。
- コロナ禍で活動ができなかった経験や元、活動の見直しを行う機会として考え直したPTAが多いことが伺えます。
- 各専門委員会の選出方法や人数の見直し、ボランティアを募り、興味のある活動をやりたいたい人がやることで、イイヤイPTA活動に参加する人いないPTAにしたいと考えています。昨年度から今までの活動で、郊外巡視ボランティア、旗持ボランティア、ヘルマークボランティアは今後も十分継続できると思います。来年度はPTA図書ボランティアも募集予定です。広報紙作成ボランティアも募集予定ですが、コロナ前から人気の広報紙作成作業なので、ボランティアが集まらなければ広報紙作成は行いません。PTAバザーもボランティアを募集して行える良いなと思っています。また、PTA室を役員だけの利用スペースにするのではなく、カフェのように寛げる空間にしようとして現在リメイク中です。コーヒーサーバー等を置き、学校を訪れた保護者や地域の方にもよここと休んでもらえるような場所にしなさいと考えています。各学級の茶話会も気軽に開催していただき、保護者同士の横の繋がり大切に、誰でも無理せず楽しめるPTAを目指して現在は事務局があれこれ進めているところです。
- PTAの在り方自体を見直しています。児童数1000人を超えるマンモス校なので何らかのアンケートを集計するにも大変な作業に、アンケートや様々なデータをデジタル化し作業効率をUPさせようとして進んでいる途中です。ユースタについて、コロナ前のようなやり方だと密を避けることができずこの2年開催出来なかった。運営そのものやり方を見直し、かつ、マンモス校でも子どもたちに楽しんでもらえる何かを出来ないか模索中です。クラス役員、PTA役員等なかなか立候補者が出ず大変な事も多々あるので役員の方決め方も検討中です。あとは、PTAのイメージを変える為に「**小PTAフレンドリー計画」と題して保護者の方も子どもたちも近寄りやすく接しやすくなるよう、企画実行しています。

新北海道スタイル安心宣言

札幌市PTA協議会は、
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、
「7つの習慣化」に取り組みます。

マスク着用・手指衛生の取組
マスクの着用
小まめな手洗い・手指消毒

人との接触機会減少への取組
人と人の距離(2m程度)の確保

健康管理の徹底
毎日の健康チェックを実施します

咳エチケットや手洗いの呼びかけ
マスクの着用手指消毒のお願い

定期的な換気の実施
換気の悪い密閉空間を作らない

協議会の取組のお知らせ
ホームページなどでお知らせ

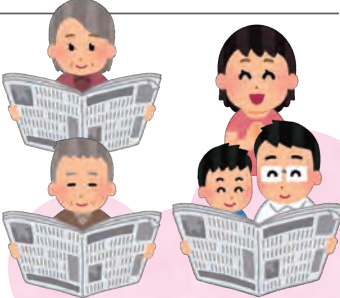
定期的な消毒・洗浄の実施
消毒剤の設置定期的な清掃を行います

札幌市PTA協議会

オンライン研修セミナーを終えて

令和3年度のオンライン研修セミナーは、参集とオンラインのハイブリット形式で行われました。ご参加いただきました皆様には「感動しました」「楽しかった」などのご感想をいただき、実りある研修セミナーとなりました。オンライン研修セミナー開催にあたりご尽力いただきました皆様改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

札幌市PTA協議会 第44回広報紙まつり 受賞校一覧

オフセットの部			
賞別	最優秀賞	優秀賞	
教育長賞	札幌市立円山小学校 父母と先生の会 「まるやま connect to the future 未来につながる」	札幌市立桑園小学校 保護者と先生の会 「 桑の木 」	
毎日新聞社賞	札幌市立西野中学校 保護者と教師の会 「 蒼穹(あおぞら) 」		
日本教育新聞社賞	札幌市立開成小学校 父母と先生の会 「 開成 」		
北海道通信社賞	札幌市立澄川中学校 父母と先生の会 「 清澄(せいちょう) 」		
市P協会賞	札幌市立平岡中央中学校 父母と先生の会 「 こもれび 」	札幌市立月寒東小学校 父母と先生の会 「 ツキヒガ 」	
手作りの部			
賞別	最優秀賞	優秀賞	
市P協会賞	札幌市立伏古小学校 父母と先生の会 「 FUSHIKO 」	札幌市立澄川小学校 保護者と先生の会 「 PTAだより 番外編 」	札幌市立旭小学校 PTA 「 かわら版 光☆水☆緑 」

第44回広報紙まつり 表彰式・展示中止のお知らせ

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、道内においても再拡大が懸念されることを踏まえ、まん延防止等重点措置が適用されていることも鑑み、2月21日に予定していましたが、並びに2月21日～25日に予定していた展示会を中止せざるを得ないと判断いたしました。



何卒、ご理解のほど宜しくお願い致します。受賞校へは賞状としおりの発送をもってかえさせて頂きました。コロナ禍の中、応募して頂きました各小中学校の担当者の皆様、ご協力ありがとうございました。

今年度の受賞広報紙を貸出しすることができます。ご希望の単位PTA担当の方は市P協事務局までご連絡ください。

編集後記

コロナ禍ではありましたが、年3回の広報紙を無事に発行できてホッとしております。私たち広報委員会では、明るく元気をテーマに工夫しながら楽しく活動してまいりました。

沢山の皆様に札幌市PTA協議会の活動を知って頂き、PTA活動がおもしろそうと、思っていただけで幸いです。

本号の発行で1年間の活動が終了となります。取材や原稿作成に、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



今年度の要望書および回答書は、札幌市PTA協議会ウェブサイト(二次元コード参照)にて公開しております。ぜひ札幌市文教施策へのご理解とご協力、年度要望の参考と。



厳粛な回答書手交式の閉会後は、会議室に場所を移して、要望書についての意見交換会が開かれました。意見交換会には、札幌市教育委員会より回答書作成に関わった相沢学校教育部長、丹尾生涯学習部部長、三戸部教職員担当部長、長谷川児童生徒担当部長、松原学校施設担当部長が、札幌市PTA協議会より回答書手交式に加え10区の総務委員が出席しました。限られた時間でしたが、要望書の精査を担当した各委員と、担当部長とで要点をまとめた意見交換が行われ、中野会長より改めて回答書について感謝と実現への期待が述べられ閉会となりました。

令和3年12月23日(木)9時30分より札幌市教育委員会教育長室にて「令和4年度札幌市文教施策に関する要望書」回答書手交式が行われました。当日は札幌市教育委員会より榎田教育長、丹尾生涯学習部部長、村上生涯学習課長が、札幌市PTA協議会より中野会長、原副会長、南出総務委員会委員長、山本事務局長が出席しました。定刻通りの開式、出席者の紹介に続き、榎田教育長より中野会長へ回答書が手渡し全手交されました。ついで中野会長より札幌市文教施策と要望書回答について感謝の言葉が、榎田教育長よりこれからの札幌市文教施策について、閉会となりました。



令和4年度

札幌市文教施策に関する要望書への
回答書をいただきました



コンサート [全7公演]
3歳以上・5歳以上のお子様から入場できるコンサートがたくさん!

ゴールデンウィークの音楽祭

Kitaraをまるごと楽しもう!

Kitara あ・ら・か・る・と

2022年5月3日[火・祝] - 5月5日[木・祝]

見学・体験コーナー
Kitaraの地下探検や、子どもスタッフ体験といったあ・ら・か・ると限定イベントがあるよ!
※事前応募制

楽器づくり体験
世界にひとつだけのオリジナルオカリナを作ろう!

主催: 札幌コンサートホール(札幌市芸術文化財団) TEL 011-520-2000 <https://www.kitara-sapporo.or.jp/>

公演チケットは Kitara チケットセンター TEL 011-520-1234(10:00~18:00/休館日を除く)

詳細はこちら!

